

1-2 資本論の最終目的

近代社会の経済的運動法則を暴露し、分娩の苦痛を短くし緩和すること。

「この著作で私が研究しなければならないのは、資本主義的生産様式と、これに照応する生産諸関係および交易諸関係である。……一国は他国から学ばなければならないし、また学ぶことができる。たとえある社会がその運動の自然法則の手がかりをえたとしても、——そして近代社会の経済的運動法則を暴露することがこの著作の最終目的である——、その社会は自然的な発展の諸段階を跳び越えることも法令で取り除くこともできない。しかし、その社会は、分娩の苦痛を短くし緩和することはできるのである。」

(大月版『資本論』Ⅰ (初版序文) P8-10)